

栃木放送平成 22 年度第 9 回 2 月期定例番組審議会議事録

1.開催の日時 平成 23 年 2 月 8 日 (火) 午前 11 時

2.開催の場所 栃木放送本社会議室

3.委員の出席 委員総数 9 名

出席委員 8 名

欠席委員 1 名

出席委員名	委員 長	増 田 仲 夫
	副委員 長	原 沢 佳 子
	委 員	鈴 木 正 好
	委 員	太 田 照 男
	委 員	宇賀神いづみ
	委 員	小 島 俊 一
	委 員	田 村 澄 夫
	委 員	安 納 守 一
局側出席者氏名	代表取締役社長	栗 山 正 道
	常務取締役	山 口 純 一
	報道制作本部長	竹 澤 一 夫
	報道制作局長	高 瀬 一 也

4 議 題

- (1) 特別番組「第 52 回栃木県郡市町対抗駅伝競走大会」について
- (2) その他

5 議事内容

- (1) 特別番組「第 52 回栃木県郡市町対抗駅伝競走大会」について
試聴番組：平成 23 年 1 月 30 日 (日)
9：25～14：30 放送分から抜粋
議題説明：高瀬一也 報道制作局長
今回の駅伝競走大会の概要と、中継体制について説明し、
実況の中から 4 カットを抜粋して試聴。審議に入る。

各委員からは、

○いろいろなスポーツ中継が行われるのはありがたい。今年も家族で応援に出かけたが、いまどの辺を走っているのかと思っていたら、近くの人が栃木放送の中継を聴いていて、先頭の位置がわかった。ラジオは、こういうときとても便利だ。

臨場感をだすために、現場の音がもう少し入ると良いと思う。

○スポーツ中継にラジオを持って行くようPRすると良い。

○車で移動していると、携帯ラジオがない。携帯電話でラジオが聴けるようになると良い。

○スマートフォンならラジオも聴くことができる。

○radikoには栃木放送もぜひ入って欲しい。

○タイミングの良い番組だ。都道府県男子駅伝で栃木が優勝して、郡市町対抗駅伝と同じ日に行われた女子マラソンでも、赤羽が勝った。沿道の応援も増えたと聞いている。

今日の放送を聞いた範囲では、前回の反省が反映されて、良い放送だった。

○リポーターが聴きづらかった。解説は、わかりやすく良かった。ノイズが気になるという説明があったが、風が強いというコメントが入っていたので気にならなかった。

○今回のように独走態勢になると放送も難しいだろう。

○ブログは、随時更新していったのか。

○中継所ごとに、順位とタイム、写真を更新した。

○タスキ渡しの部分、遅いチームのフォローを何か考えられないか。上位陣はもちろんだが、遅いチームも紹介して欲しい。

○バイクレポートで紹介しているが、中継所のリポーターが、描写しても良い。工夫が必要だ。

○バイクの音声テストは事前にできなかつたのか。音声が取れないのでは意味がない。

○女性アナウンサーの声はなんであんなに高くて聴きづらいのだろう。

などの意見が交わされた。

当社としては、これらの意見を参考に、今後の番組作りに取り組んでいきたい旨説明した。

(2) その他

22年度第10回3月期の審議会開催日を、決めて閉会した。

以上